

手話に関する市川三郷町の主な事業・町民活動

手話を学びたい人は

初級手話奉仕員養成講座、中級手話奉仕員養成講座
(市川三郷町・富士川町合同事業)

手話ができる人を養成するために、市川三郷町社会福祉協議会・富士川町社会福祉協議会では合同事業で、1年間の初級手話奉仕員養成講座、中級手話奉仕員養成講座を開催しています。

手話学習だけではなく、ろう者の生活や背景などについても学びます。

※対象者：高校生以上の市川三郷町・富士川町に在住、在学、在勤の方

① 初級手話奉仕員養成講座 (初めて手話学習をする人)

- ・受講日：5月～3月 毎週水曜日
- ・時間：19時～21時
- ・回数：全40回 (1日野外研修あり)
- ・受講料：テキスト代
- ・場所：生涯学習センター、又は、富士川町の施設



② 中級手話奉仕員養成講座 (手話レベルアップの学習をする人)

①を受講し、修了すると、中級手話奉仕員養成講座へレベルアップの受講ができます

- ・受講日：5月～3月 隔週月曜日
- ・時間：19時～21時
- ・回数：全20回
- ・受講料：無料
- ・場所：大同公民館、又は、富士川町の施設



手話通訳を依頼したい場合は

意思疎通支援事業 (手話通訳等派遣事業)
(市川三郷町の事業)



ろう者等への情報保障のために、医療・教育・生活相談など大切な話し合いの場に手話通訳者を無料で派遣しています。利用するには条件がいくつかありますので、市川三郷町役場福祉課へお問い合わせの上、ご依頼ください。

手話サークル「神明」の紹介

毎週火曜日 19:30～21:00

※第5週・祝日はお休み

場所：生涯学習センター (ifセンター)

ろう者と手話を学ぶ人が集まって活動を行っている手話サークルがあります。手話での交流を深めたり、研修などを行っています。(町民活動)

この機会に
手話に
親しんで
みませんか。

お問い合わせ先

市川三郷町役場 福祉課 市川三郷町市川大門1790-3
TEL: 055-242-7057 / FAX: 055-272-1198
メール: fukushi@town.ichikawamisato.lg.jp

みんなで手話を

やるじゃんけ!



市川三郷町



市川三郷レンジャー「にんどんぼん」

この手話は
「ありがとう」
という表現
です。

2015 (平成27) 年10月1日「市川三郷町手話言語条例」施行

『手話』は『言語』です!

『手話』は、「日本語」や「英語」などと同じ『言語』であることを知っていますか?

『手話』は音声言語である日本語とは異なり、手指や体の動き、表情などを使って伝える「目で見える言語 (ことば)」です。

市川三郷町では、町民の皆さんが手話言語に対する理解を深め、手話の普及を図り、あらゆる場面で手話による円滑な意思疎通ができる地域社会、また、全ての人々がお互いを尊重し、わかり合い、心豊かに共生することができる社会の実現を目指し、県内で初の『手話言語条例』を制定しました。



～ 『耳が聞こえない』って なんだろう？ ～

音や声が聞こえない、聞こえにくいという耳の障がいです。



ろう者	中途失聴者	難聴者
生まれつき、または幼少期から聞こえない人、音声言語を覚える前に聞こえなくなった人	もともと聞こえていたが、事故や病気などの理由で突然、または徐々に聞こえなくなった人	生まれつき聞こえにくい、または音声言語を覚える前から少し聞こえる人(人によって聞こえ方は違う)



聞こえない人はみんな同じではありません。様々な人がいます。

聞こえない人とのコミュニケーション方法とは？

手話	手指、体、目の動き、顔の表情で表現する方法で伝えます。
筆談	紙や手のひらなどに、文字などを書いて伝えます。
ジェスチャー	手や体、顔の動きなどの身振りで伝えます。
口話	相手の口の動きをみて言葉を読み取ったり、相手に伝えます。
空書	メモなどが無い場合、空中に文字をゆっくり書いて伝えます。



聞こえない人は、一人一人コミュニケーション方法が違います。その人にあった方法で伝えましょう。周りに聞こえない人がいたら、積極的にコミュニケーションをとってみてください。

聞こえなくて困ることは何かな？

◎突然の事故や災害の時、音声による放送などが聞こえないため、適切な行動がとれない。



◎朝礼、会議などで複数の人が同時に話すと、誰が何を話しているのかわからない。



◎メモ ろう者は、聞こえないことが見た目ではわかりにくく、また、自分の思いをうまく伝えることが難しいことがある。

◎後ろから自転車や車などが近づいてきても気付かない。



◎病院や銀行などの窓口での呼び出しに気付かず、順番を飛ばされることがある。



～ 聞こえない人からのお願い ～

インフルエンザなどの感染拡大防止のため、様々な感染予防対策があり、マスクも感染予防の一つであると理解していますが、聞こえない人にとっては、このマスクが意思疎通の壁になってしまいます。

マスク着用で、表情や口の動きがわからず、相手が何を話しているか理解できません。手話で会話をする時もマスクで顔が見えないと、相手の話していることがわかりづらいです。

聞こえない人と会話する時は、マスクを外してゆっくり話していただくと助かります。



簡単な手話を覚えましょう！

あいさつ

おはよう

右手をグーにして顔の横から下へ下ろす。



こんにちは

右手の人差し指と中指を伸ばして、額の中央に当てる。



こんばんは

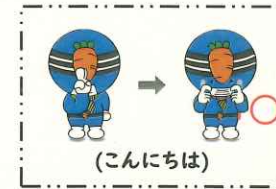
手のひらを前に向けた両手を目の前で交差させる。



向かいあって頭を下げる様子



両手の人差し指を向かい合わせて、指先を曲げる。



(こんにちは)

しゅわ手話



両手の人差し指をのばし、ぐるぐる回す。

動画でも見られるよ



ありがとう

左手のひらを下に、反対の手をのせて、上にあげる。



よろしくお願いします

①右手のこぶしを鼻にあてる。 ②指を揃えて開きながら前に出す。



お疲れ様

右手でこぶしを作って、左手の手首のところをトントンと2回たたく。



さようなら

バイバイする動作

デジタル技術を活用する聞こえない人とのコミュニケーション方法も

あります

コミュニケーション支援アプリ(音声認識)を導入したスマートフォンやタブレットなどを使用して、相手が音声で話した内容を自動で文字に変換することで、視覚的に会話を理解することができます。

町(福祉課)もスマートフォンやタブレットに音声認識アプリ「UDトーク」「こえとら」を入れて使用しています。